



秋には、「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」「実りの秋」等、「〇〇の秋」と言われる言葉がたくさんあります。このことは、暑さも一段落して、秋が過ごしやすく、いろいろなことに挑戦ができることからなのでしょう。秋の日の一日一日を、大切にして、有意義に過ごしたいものですね。

親子の愛

9月18日（月）は、敬老の日です。みなさんは、おじいちゃん、おばあちゃんとどのように過ごされるのでしょうか？

ここで、以前ある新聞に載っていた「ちょっといい話」を紹介します。

「・・・大学卒業間近の青年の話。就職試験の面接の真っ最中、試験官が青年に向かって尋ねたという。『あなたは親の背中を流してあげたことがありますか？』。青年は予想外の質問に戸惑いながら『いいえ、一度もありません』。試験官は『それでは今日の面接はこれまでにします。家に戻り、親の背中を流してください。明日にこの続きをします』と面接を打ち切った。青年は家に戻り、母親に『背中を流させてくれ』と頼んだという。年老いてきた母親は『背中を流さなくてもいいから、足だけでもせめて洗ってくれ』と言ったそうだ。青年は母親の足を洗いながらあらためて見つめると、そこには、丸まってしまった指や黒くなった爪、そして、シミやタコがたくさんあった。『こんなにも母の足は小さくなってしまったのか』と感じながら、足の指一本一本、甲、裏と丁寧に丁寧に洗った。そうしていくうちに汗が涙と変わり、顔はクシャクシャ、目は涙でかすむほどになった。母親の小さくなった足を見つめ、子どもを育てるために昼夜を忘れて働いた母への感謝の気持ちでいっぱいになった。・・・」



いかがでしょうか？とてもいい話ですね。私は、この話を読んで、父や母の顔を思い出し、胸に来るものがありました。

この世の中で、一番基本的で、大切な関係は「親子の関係」でしょう。親が子を慈しみ、子が親を大切にします。人としてとても大切な感情です。

子どもにとって、親が自分の親（子どもにとってはおじいちゃんおばあちゃん）を大切にしている姿を見せることは大切なことです。その姿を見ることで自分も親を大切にしなければと思うようになるのだと思います。親子や家族がしっかりと絆に結ばれた家庭にしていきたいですね。

今は、3世代が生活を共にしておられる家庭は少ないと思います。できれば敬老の日には、子どもを連れて、おじいちゃん、おばあちゃんに会いに行かれてはどうですか。おじいちゃん、おばあちゃんに孫に会えばより元気になられるでしょうし、孫はおじいちゃん、おばあちゃんから優しさがもらえます。その触れ合う姿を見て、親として温かな気持ちになられるのではないのでしょうか。

“親子愛”はいつの時代にあっても、どこの国でもこの世の中で最も尊いものではないのでしょうか。